

令和 7 年 10 月 25 日

作成：門間由美子

令和 7 年度 10 月優っくり小規模多機能介護石神井台沼辺 運営推進会議 議事録

【開催日時】

令和 7 年 10 月 25 日(土曜日)10 時 00 分～10 時 15 分

【開催場所】

対面・Zoom のハイブリッド開催

【参加メンバー】

門間統括課長、光永様（練馬区介護保険課）小林様(第二光陽苑地域包括支援センター)、K 様（利用者様ご家族）、K 様（利用者様ご家族（欠席））、K 様（ST ご利用者）

【開催内容】

① 最近のご利用者様のご様子について報告

※写真を添えて説明

9 月 10 月の活動の様子を載せています。9 月末に行ったカフェや納涼祭の様子、ボランティアによる紙芝居の様子やその時の飾り作りの様子です。作業療法士によるリハビリやレクなどの様子などの様子の報告

② 利用者状況

《新規利用》 1 名

《契約解除》 1 名

《入院者》 0 名

10 月 22 日時点 登録者数 24 名（男性 6 名：女性 18 名）

利用終了となった方が 1 名いらっしゃいますが、併設のグループホームへ移行されました。

現在の登録者は 24 名です。登録定員は 29 名のため、全体としては空きがあります。

一方で、通い利用の定員は 15 名となっており、一時的に利用を増やしている方がいるため、日によっては満員となることもありますが、日によっては空きがある状況です。

《要介護度の内訳》

※10 月 22 日現在（区分変更中/暫定含む）

要支援 1 → 1 名

要支援 2 → 2 名

要介護 1 → 6 名

要介護 2 → 4 名

要介護 3 → 6 名

要介護 4 → 2 名

要介護 5 → 4 名

平均要介護度 2.54

平均要介護度は 2.54 で、前回の平均 2.27 よりも上がっています。

これは、区分変更中だった方の介護認定が確定したことや、新規利用開始者の影響によるものです。

③ 職員の入退職

入職 1 名

退職 0 名

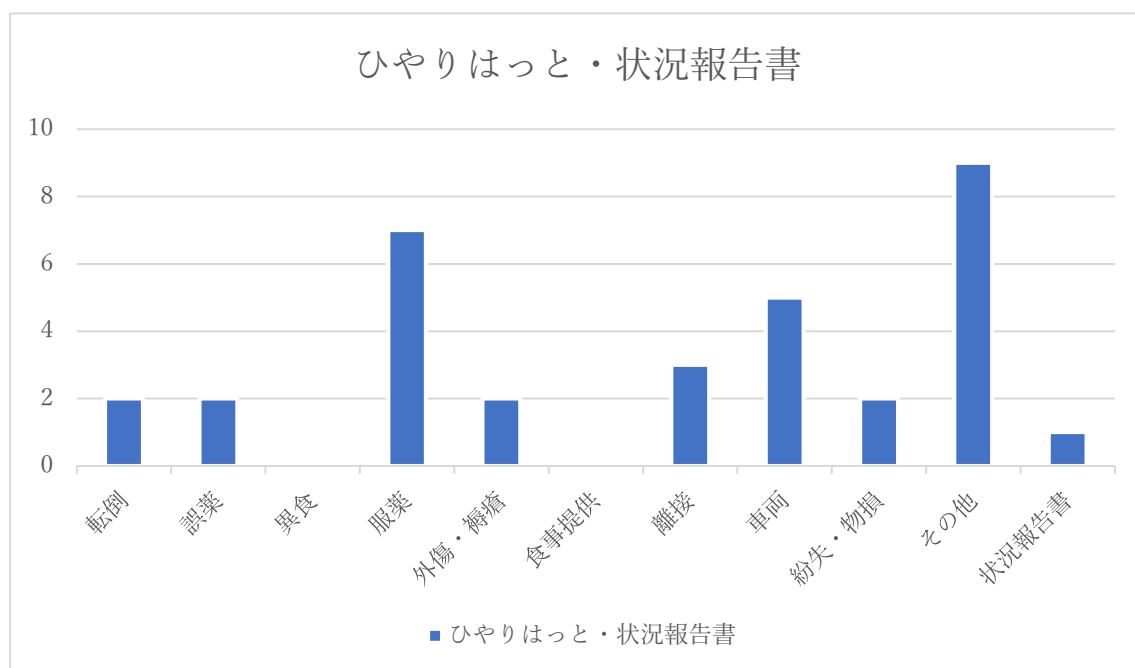
異動 0 名

10 月入職者 1 名となっています。退職者は 0 名

安定した人員配置となっております。

④ ひやりはっとと状況報告の件数とポイント紹介

転倒	誤嚥	異食	服薬	外傷 褥瘡	食事 提供	離接	車両	紛失 物損	その他	状況 報告	合計
2	2	0	7	2	0	3	5	2	9	1	33



《ポイント》

介護現場におけるヒヤリハットとは、事故には至らなかったものの、利用者の安全に関わる「ヒヤッとした」「ハッとした」出来事のことであり、例えば転倒しそうになったが職員が支えて防げた場合などが該当し、このような事例を報告・共有することで事故の未然防止や安全意識の向上につなげることを目的としています。ヒヤリハット報告・共有することで、同じような場面で事故を防ぐ、業務の改善や環境整備につなげる、職員全体で「安全意識」を高めるといった事故防止に努めています。

玄関入り口オートロックになっておりますが、定期的にロック解除番号は変更しています。

状況報告書 R7 年 9 月 01 日～10 月 23 日 1 件

【①車両事故】

概要 9 月 15 日に利用者様宅敷地内にて車両が何かにはまり、複数回降車して周囲を確認しながら少しづつ移動させたが接触警音が鳴る中で切り返しを行ったが、当時は暗く障害物を目視で確認することができなかった。その際にバンパーを損傷した可能性があり。翌日現場を確認したところ敷地内に切株に接触、敷地内の物損はなく、利用者様降車後であったため怪我もなかった。

問題点…外灯がなく夜間での送迎で視界が悪く、切株などの障害物を確認しづらい状況だった。

対策…敷地内が暗い場合は、利用者様やご家族に外灯を点灯していただくよう依頼、利用者様宅ごとの駐車環境やリスク箇所情報を周知徹底する。

⑤ 優ったりカフェの開催について

原則偶数月の第 4 週の日曜日開催。次回開催は、11 月 23 日（日）

ご都合が宜しければ是非参加をお願い致します。

⑥ サービス評価（自己評価）について

小規模多機能型居宅介護の自己評価は、サービスの質を高めるために事業所が自らの取り組みを振り返り、改善点を見つけて利用者様や家族様に説明・公表することで、安心と信頼につなげる取り組みです。

自己評価の結果は、職員全員で共有し、必要な改善を行います。また、運営推進会議でも報告し、地域の方々やご家族にもご覧いただけるようにしています。

サービスの質をより良くするため、皆さまのご意見を自己評価に反映させたいと考えておりますので、外部評価地域かかりシートへのご協力をお願いいたします。

⑦ 質疑応答

ひやりはっとの外傷褥瘡に関して内容の確認があった。

外傷褥瘡のひやりはっとの事故を未然に防ぐための共有する取り組みです。

クッションが少し当たっていて皮膚が少し赤くなった。手すりなどにぶつかり怪我はなかったが皮膚が少し赤くなったなど「もう少しで怪我をするところだった」という気づきを報告・共有する取り組みで振り返りや是正にも努めています。

⑧ 次回開催は令和 7 年度 12 月下旬を予定

以上